

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	高齢者民営バス助成事業	担当課	総合政策課
事業内容(簡潔に)	65歳以上の高齢者で山梨交通株式会社の民営バス利用者に対し、申請区間を100円で利用できる助成券の交付またはゴールド定期券を3,000円控除した金額で購入できる助成券を交付する。		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	安全・安心に暮らせる強いまちづくり	
	政策	安全・安心なまちづくり	
	施策	公共交通網の整備	
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市高齢者民営バス利用助成金交付要綱

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	市民バスと民営バスとの間に高齢者割引に関する運賃格差があり、その是正を図るとともに高齢者の自立的生活の支援を目的とする。
事業の手段	65歳以上の高齢者で山梨交通株式会社の民営バス利用者に対し、申請区間を100円（1月あたり10枚）で利用できる助成券の交付またはゴールド定期券を3,000円（1月あたり1枚）控除した金額で購入できる助成券を交付する。
事業の対象	市税等に滞納がない65歳以上の市民

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	522	813	1,081
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	その他(使用料・借入金ほか)	0	0	0
	一般財源	522	813	1,081
B	担当職員数(職員E) (人)	0.05	0.05	0.05
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	335	329	329
D	総事業費(A+C) (千円)	857	1,142	1,410
主な事業費用の説明	民営バス利用助成金			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 対象路線	市内の対象路線数 (下教来石線、増富温泉郷・百観音線、浅尾・仁田平線、敷島経由甲府線、大草経由甲府線)	5	5	5
	2 利用者数(人)	【ゴールド定期券助成】 下教来石線 5 増富温泉郷・百観音線 4 浅尾・仁田平線 0 敷島経由甲府駅線 0 大草経由甲府駅線 11 【利用券】 下教来石線 - 増富温泉郷・百観音線 - 浅尾・仁田平線 - 敷島経由甲府駅線 - 大草経由甲府駅線 -	5 4 0 0 11	3 3 0 0 13	3 6 0 0 14
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	<ul style="list-style-type: none"> 対象となる市内民営バス路線であり、高齢者の日常生活の移動手段の1つとなっている。 高齢者(利用者)の負担軽減及び移動手段の確保・維持を図ることができる。 			
	2	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数から事業のニーズ把握を行うことが出来る。 利用者数は、ゴールド定期券助成、利用券とともに増加し、高齢者の交通手段の確保が図られている。 			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	利用回数(件)	【ゴールド定期券助成】 下教来石線 38 増富温泉郷・百観音線 26 浅尾・仁田平線 0 敷島経由甲府駅線 0 大草経由甲府駅線 110 【利用券】 下教来石線 - 増富温泉郷・百観音線 - 浅尾・仁田平線 - 敷島経由甲府駅線 - 大草経由甲府駅線 -	35 54 0 0 125 127 476 50 0 143	35 71 0 0 119 323 1,154 88 0 179
	2	1人あたりの助成金額(円)	助成金額合計÷利用者人数	26,100	18,067
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	制度の浸透とともに、利用者数及び利用回数が増えてきている。			
	2	利用券(1回あたり100円)の増加により、一人当たりの助成金額が減少傾向となっているが、定期でなく必要な時に使用する都度利用で、経費が効率化された結果と考えている。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)				
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)				
	令和4年度の改善計画(今後の事業展開説明) 高齢者の自立的生活を支援するため、補助制度の周知に努め、利用者の増加を図る。				
改善の経過	令和2年 ゴールド定期券の助成に加え、申請区間を100円で利用できるようにする助成制度の追加 ゴールド定期券の助成手法の変更(申請者へ実績払い⇒購入時に3,000円控除)				
直近の評価結果	内部評価	2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 - <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の改善案	高齢者の移動手段の確保及び市民バス高齢者割引制度との価格是正するため、今後はゴールド定期券の購入助成に加え、民営バス利用料金に対する助成の実施を検討する。			
	外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の対応	対象外			
課長所見	市民バス利用者との均衡が保たれているか、今後も高齢者による民営バス利用者のニーズを把握し、引き続き効率的な支援策を検討していく。				